

包括的な学校改善の推進に向けた校長のマネジメント

中核校	大樹町立大樹小学校	指定校	広尾町立広尾小学校、広尾町立豊似小学校 広尾町立広尾中学校、大樹町立大樹中学校
-----	-----------	-----	--

実践前の状況

- ・教職員のグランドデザインに対する理解が浅く、各教育活動と学校として目指す資質・能力との関連を十分図ることが難しい状況があった。
- ・学校改善を自分事として捉える意識が低く、改善を管理職任せにする雰囲気少なからずあった。

実践の概要

グランドデザインから目指す子どもの姿を可視化

- ・グランドデザインを基に、教職員それぞれが目指す「子どもの姿」を具体的にイメージして話し合い、子どもの成長後の姿について共通理解を図ることにより、学校教育目標に向かう教職員のベクトルが揃い、日々の授業実践や各分掌の提案に関連性が生まれた。

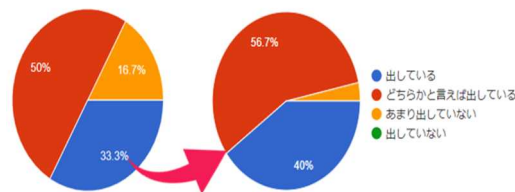
教職員のアイデアを引き出し自分事として改善に進むリフ

レクション会議

- ・1学期末と2学期末にリフレクション会議を行い、学校評価アンケートの結果を全教職員で共有するとともに、課題の解決に向けたアイデアと実現を担う分掌を募り、教職員が自らのアイデアで学校を改善するという過程を重要視したことにより、自分事として学校改善に参画する教職員が増えた

1 目的			
(1) 自他ともに認め合い、より良い生活を築こうとする態度を育てる。			
(2) 将来に対する夢や希望をもち、「自律」を大切にしながら努力する態度を育てる。			
(3) 自分の考えをもち、課題を解決しながら目標に向かって努力する態度を育てる。			
(4) 地域を味わう活動を通して、学ぶこと、働くことの意義を知り、互いに協力する喜びや達成感を味わわせる。			
教育目標	強く（主体性）	正しく（自律性）	美しく（相手意識）
めざす大樹っ子の姿	北国ならではの冬期スポーツの楽しさを味わいながら、積極的に練習に取り組み最後までやり通すことができる	スキー場の決まりを守りながら、安全に留意し効果的な練習法について考えることができる	友達と認め合い励ましあいつながり練習に取り組みることができる

【行事における目指す子どもの姿】



【学校改善への参画意識の向上】

実践の充実に向けた取組の工夫

〔校長・教頭・教務部の取組〕

- ・校長が作成したグランドデザインを基に、教頭と教務部が連携して、校内において、学校力向上研修会を開催し、目指す子どもの姿を共有することにより、教職員のベクトルを揃える必要性を全員で共有した。その際、クラウド上の共有ボードを使うことにより、目指す子どもの姿について、教職員全員の発言を促したり、協議を通して共有したりできるよう工夫した。
- ・保護者・子ども・教職員のアンケート集約、リフレクション会議資料の準備は教頭が担当し、アンケート結果に基づいた課題設定等、結果分析を教職員全員で行うことにより、各分掌の提案が、学校課題を踏まえ、「いつやるのか」、「だれがやるのか」を意識した検証可能な提案となるよう工夫した。

成果（ ）と今後の課題（ ）

各学校行事において、目標に加え、「目指す子どもの姿」が明記されるようになった。教職員間の目標の共有に留まらず、児童と共有することにより、児童が目標に向かって主体的に取り組むことができるとともに、評価の指標を全校で共有し、評価に基づいた取組の改善を図ることができた。

教職員アンケート「業務を進める中で自分の思いや意見を出している」の項目について、肯定的な評価が増加した。（7月：83.3% 12月：96.7%）

教職員の学校改善への参画意識を高めることができたため、ベクトルを微調整できる、より効率的なPDCAサイクルを構築し、評価と改善のサイクルを加速させる必要がある。